

大島くるみ病院だより



医療・介護情報 <熱中症>

熱中症とは、炎天下や暑熱環境での作業やスポーツ活動中に発生する障害のことで、**熱射病**、**熱疲労**、**熱痙攣**に分類されます。熱中症は、適切な予防法を知って防止することや適切な応急処置で救命することもできます。

- ・**熱射病**… 暑い中にずっといて体温を調整する機能がまひすると、体温が過度に上昇して「熱射病」になる。熱射病は、体の中枢機能に異常をもたらし、重症になると意識障害を引き起こします。
- ・**熱疲労**… 暑さにより大量の汗をかいて、大量の水分を失うと、体内の水分とイオンが減少して脱水症状が起こる。これを、熱疲労と呼びます。
- ・**熱痙攣**… 大量の汗をかいて塩分が失われることで、血液中の塩分不足が起き、筋にけいれんを起こします。熱痙攣は、主に手足の痺れとなって現れます。



熱中症を予防する！

熱中症を予防する為に、これからの季節、作業が長時間にわたる時は、こまめに休憩を入れ、水分を補給することを心がけましょう。また、疲労が蓄積されていると、より一層、熱中症にかかりやすくなります。スポーツや仕事などは体調を整えてから行うよう、事前に十分な睡眠や食事をとりましょう。

富山福祉短期大学 看護実習

7月21～30日・4名の実習生が訪れました。

今回私達は初めての実習に、不安と期待を胸に挑みました。学習の目的は、病院での実習を通して医療施設と医療従事者及び患者さんの生活の概要を知り、入院患者さんの生活の実際を学び、今後の学習へのイメージと動機付けの強化でした。

今まで授業で習ったことを実際に見ることができ、各自が、知識習得への意気込みも更に深まりました。

知識と技術向上はもちろん、患者さんの立場に立ち、援助することの大切さを学ぶことができ、将来看護師を目指す私達看護学生の動機付けへと繋がりました。

今回の実習目的であったように病院を知り、患者さんの生活を知り、学習への取り組み方をすることが出来ました。

丁寧に指導して頂いた職員の皆様、ありがとうございました。また、快く私達の見学を承諾して頂いた患者さん・ご家族の方には、感謝の気持ちでいっぱいです。実習で学んだことを今後に生かし、日々の勉強に励んでいきます。



買い物に行ってきました！

7月15日、アルプラザ小杉に行ってきました。楽しく買い物をして、いい気分転換になりました。



医学講座

7月、職員の知識と技術の向上の為、高齢者肺炎についての医学講座が開かれました。



肺炎の危険性を認識して、肺炎を予防するために、正しい看護・介護を心がけて行こうと思いました。いい勉強・刺激になりました。



研究発表会

6月21日に研究発表会が当院で行われました。

今月は、その発表会のテーマの1つ、南2階病棟『胃瘻の皮膚トラブルについて』をお伝えします。

胃瘻の皮膚トラブルについて

所属 南2階病棟(麻生 香・今枝 暢子・高柳 和代・山田 希伊子)

<はじめに>

胃瘻の患者様の多くに、漏れ・ビラン・肉芽などのトラブルが見られます。そこで、その原因について調べたところ、胃瘻チューブの遊びが乏しい「圧迫虚血」や、チューブの倒れ込みによる「内部ストッパーの蹴り上げ」が原因としてあった。当病棟をあらためてみると、チューブが一定方向（上向き）に引っ張った状態で管理されていたため、スポンジを使用する事で、トラブルがどの程度改善されるか、また、看護スタッフだけでなく、介護スタッフにもチューブの管理が容易にできるのではないかと思い研究した。

<研究内容>

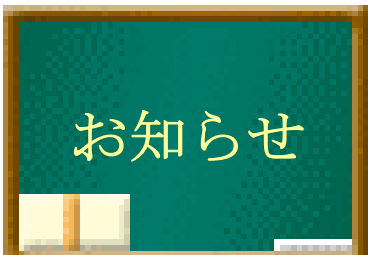
チューブを腹壁に対してスポンジで垂直に立て、ティッシュは汚染毎に交換し、4週間の間、毎日5つの項目にそって観察した。対象者は、肉芽・漏れなどのトラブルのある人5名。

<考察>

スポンジで固定する事により、胃壁から内部ストッパーの間隔、“2cm程の「あそび」”が維持でき、チューブも腹壁に対して垂直に保つことが出来たので、漏れの回数が減り、赤発・ビランが改善され、ろう孔開大も改善された。また、肉芽が改善されることにより、滲出液が殆ど出なくなったため。胃瘻管理には有効であると思われる。

<まとめ>

スポンジを使用する事により、看護・介護ともに、「胃瘻チューブを垂直に立てる」という意識付けができ、ティッシュのみ使用の患者様でも、チューブを立てて管理することが出来た。漏れ・ビラン・肉芽なども改善されていたので、今後も今回の研究結果をもとに管理していきたいと思う。

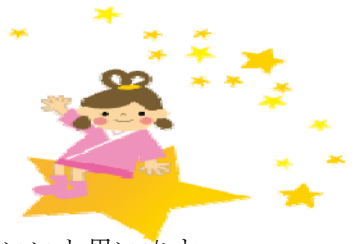


お知らせ

- ・7月12日の当番医外来患者は、5人でした。
- ・お盆の期間（8月15、16日）は、1階業務（外来・デイサービス・介護センター）は休みとなります。

七夕

各病棟とデイルーム前に笹の葉を準備しました。利用者さんには短冊を書いてもらい、夏の風物詩で季節を感じてもらえたらいいと思います。



♪編集後記♪

今年の我が家の家庭菜園ではトマトが絶好調で毎日食卓に上がるほどですが、なぜかなすびが全然ダメ。でも実家は真逆で物々交換できます。こんなふうを持ちつ持たれつ暮らしていければと思っております。

基本理念

患者様の生命と人権を尊重した医療と介護に努めます。
信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。
地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。

運営指針

職員は常に自己研鑽に励み、医療・介護の質の向上に努力します。 平成18年4月1日改定

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます。